

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月15日

上場会社名 徳倉建設株式会社 上場取引所名  
 コード番号 1892 URL http://www.tokura.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳倉 正晴  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石原 重保 TEL (052)961-3271  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	15,907	△0.9	5	△95.4	△149	—	△166	—
22年3月期第2四半期	16,049	△1.1	123	—	43	—	△45	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△8 10	— —
22年3月期第2四半期	△2 21	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	25,567	5,990	19.8	245 08
22年3月期	30,047	6,486	18.4	268 04

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,049百万円 22年3月期 5,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	— —	— —	— —	1 50	1 50
23年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
23年3月期(予想)	— —	— —	— —	0.00～2.00	0.00～2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	38,000	△10.9	350	△45.2	300	△49.1	150	△60.0	7 28	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	22,072,850株	22年3月期	22,072,850株
23年3月期2Q	1,470,165株	22年3月期	1,468,943株
23年3月期2Q	20,603,156株	22年3月期2Q	20,685,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
受注の状況（個別）	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続きつつも、海外経済の減速や円高の進展などを背景に回復への足踏み状況が続いております。また個人消費は駆け込み需要などあり、雇用情勢も持ち直しの動きもあるものの、設備投資につきましては慎重な姿勢は変わらず、景気は依然として低迷状態で推移いたしました。

建設業界におきましても、公共事業、民間需要ともに減少傾向が続き、熾烈な受注競争のもと、極めて厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、コスト競争力・技術提案力・信頼確保に注力し、特に得意分野である海外工事やPFI事業、当社保有の特殊技術に関する営業を推進し、受注の確保に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が15,907百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。利益につきましては、工事採算の低下や為替差損などにより、営業利益5百万円（前年同四半期比95.4%減）、経常損失149百万円（前年同四半期は43百万円の利益）、四半期純損失166百万円（前年同四半期は45百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の形態として、第4四半期に偏るといふ季節の変動要因があるため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間の売上高の割合は低くなる傾向があります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4,480百万円減少し25,567百万円となりました。負債合計につきましては、主に支払手形・工事未払金等の減少により、前連結会計年度末に比べ3,984百万円減少し、19,576百万円となりました。純資産合計につきましては、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ495百万円減少し、5,990百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ809百万円増加し、4,989百万円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少3,189百万円などありましたが、工事代金の回収等による売上債権の減少5,622百万円等により、1,638百万円の増加（前年同四半期は175百万円の減少）となりました。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の取得による支出、貸付による支出などにより、110百万円の減少（前年同四半期は77百万円の増加）となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の発行による収入100百万円などありましたが、借入金の返済等により、715百万円の減少（前年同四半期は146百万円の減少）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結通期の業績予想につきましては、工事発注時期のずれ込みなどによる工事施工高の減少により、売上高につきましては前回発表の通期予想を修正しております。利益面につきましても、完成工事高の減少に伴う修正であります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(棚卸資産の評価方法)

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ154千円減少し、税金等調整前四半期純損失は、6,068千円増加しております。

(少数株主損益調整前四半期純損益の区分表示)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失(△)」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	5,301,613	4,491,785
受取手形・完成工事未収入金等	6,738,260	11,760,750
有価証券	1,294	9,618
販売用不動産	358,925	536,044
未成工事支出金	1,892,335	1,762,782
商品及び製品	—	6,063
材料貯蔵品	5,957	5,687
繰延税金資産	149,369	149,018
その他	1,045,020	959,898
貸倒引当金	△16,958	△14,486
流動資産合計	15,475,818	19,667,159
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,662,788	1,692,877
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	143,830	221,158
船舶(純額)	57,185	62,289
土地	4,555,634	4,555,635
建設仮勘定	11,923	—
有形固定資産計	6,431,362	6,531,959
無形固定資産		
その他	30,315	31,392
無形固定資産計	30,315	31,392
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500,703	1,632,890
長期貸付金	295,184	278,572
長期未収入金	1,214,257	1,220,358
破産債権、更生債権等	513,939	535,739
繰延税金資産	112,695	179,296
その他	178,149	177,025
貸倒引当金	△184,995	△206,541
投資その他の資産計	3,629,934	3,817,339
固定資産合計	10,091,612	10,380,690
資産合計	25,567,430	30,047,849

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,634,516	8,824,096
短期借入金	8,455,401	8,492,874
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払金	85,763	133,971
未払法人税等	14,337	148,568
未成工事受入金	1,571,924	1,392,824
完成工事補償引当金	44,619	47,104
工事損失引当金	135,431	76,579
賞与引当金	55,782	55,609
その他	388,927	490,660
流動負債合計	16,406,704	19,662,285
固定負債		
社債	80,000	—
長期借入金	2,128,933	2,861,933
長期未払金	57,170	53,443
退職給付引当金	515,909	504,607
環境対策引当金	2,394	—
再評価に係る繰延税金負債	124,894	124,895
負ののれん	130,478	260,956
資産除去債務	8,722	—
その他	121,355	93,282
固定負債合計	3,169,858	3,899,116
負債合計	19,576,562	23,561,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,032	2,368,032
資本剰余金	1,527,309	1,527,310
利益剰余金	2,131,773	2,328,099
自己株式	△163,083	△163,589
株主資本合計	5,864,032	6,059,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△140,605	32,934
繰延ヘッジ損益	△104,056	—
土地再評価差額金	△570,014	△570,015
評価・換算差額等合計	△814,676	△537,081
少数株主持分	941,511	963,677
純資産合計	5,990,867	6,486,448
負債純資産合計	25,567,430	30,047,849

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	16,049,154	15,907,049
売上原価	14,775,446	14,837,455
売上総利益	1,273,708	1,069,594
販売費及び一般管理費	1,150,524	1,063,919
営業利益	123,184	5,674
営業外収益		
受取利息配当金	21,971	25,369
負ののれん償却額	130,477	130,478
その他	33,756	24,838
営業外収益合計	186,204	180,685
営業外費用		
支払利息	128,022	117,526
為替差損	92,980	198,688
その他	45,114	19,379
営業外費用合計	266,116	335,594
経常利益又は経常損失(△)	43,272	△149,234
特別利益		
固定資産売却益	955	48
投資有価証券売却益	1,334	—
貸倒引当金戻入額	28,947	9,645
完成工事補償引当金戻入額	3,815	—
特別利益合計	35,051	9,693
特別損失		
前期損益修正損	783	—
固定資産除売却損	1,766	1,078
投資有価証券売却損	—	2,617
投資有価証券評価損	2,714	6,600
販売用不動産評価損	13,198	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,914
その他	9,866	4,476
特別損失合計	28,327	20,686
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	49,996	△160,227
法人税、住民税及び事業税	75,909	13,352
法人税等調整額	10,016	△1,072
法人税等合計	85,925	12,280
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△172,507
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,864	△5,549
四半期純損失(△)	△45,793	△166,957

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	49,996	△160,227
減価償却費	100,985	123,473
負ののれん償却額	△130,477	△130,478
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,950	△19,074
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△2,811	△2,485
工事損失引当金の増減額(△は減少)	23,735	58,853
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,763	11,302
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,335	173
受取利息及び受取配当金	△21,971	△25,369
支払利息	128,022	117,526
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△1,334	2,617
投資有価証券評価損益(△は益)	2,714	6,600
固定資産売却損益(△は益)	△955	△48
固定資産除却損	1,766	1,078
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,254,316	179,101
売上債権の増減額(△は増加)	3,432,274	5,622,319
割引手形の増減額(△は減少)	△687,943	△599,829
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,536,147	53,358
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,309,211	△3,189,579
為替差損益(△は益)	5,678	2,340
立替金の増減額(△は増加)	184,339	△70,217
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,914
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△203,329	11,740
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△295,736	△179,895
長期前払費用の増減額(△は増加)	3,197	△3,098
その他	—	52,632
小計	△3,414	1,868,727
利息及び配当金の受取額	20,678	23,521
利息の支払額	△140,692	△126,213
法人税等の支払額	△52,383	△127,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	△175,811	1,638,255

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60,934	△136,052
定期預金の払戻による収入	74,544	136,024
有形固定資産の取得による支出	△95,230	△44,720
有形固定資産の売却による収入	44,313	24,699
投資有価証券の取得による支出	△11,330	△79,736
投資有価証券の売却による収入	7,078	17,911
貸付けによる支出	△275,544	△144,445
貸付金の回収による収入	380,522	110,861
その他の支出	△1,575	—
その他の収入	16,085	4,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	77,929	△110,837
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	30,911,252	29,503,789
短期借入金の返済による支出	△31,570,856	△29,832,527
長期借入れによる収入	7,869,416	700,000
長期借入金の返済による支出	△7,295,136	△1,141,734
社債の発行による収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	△17,790	△101
配当金の支払額	△29,678	△29,368
少数株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
その他	—	△1,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,792	△715,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,069	△2,340
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△246,743	809,800
現金及び現金同等物の期首残高	3,690,147	4,179,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,443,404	4,989,592

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 受注高

	受注高	
平成23年3月期第2四半期	18,153 百万円	19.9%
平成22年3月期第2四半期	15,146 百万円	△6.3%

##### (参考) 受注実績内訳

区分		平成23年3月期 第2四半期		平成22年3月期 第2四半期		比較増減	増減率	
建設事業	土木	官公庁	10,112	(%)	7,394	(%)	2,718	%
		民間	713	(3.9)	895	(5.9)	△182	△20.3
		計	10,826	(59.6)	8,289	(54.7)	2,537	30.6
	建築	官公庁	1,701	(9.4)	1,236	(8.2)	465	37.6
		民間	5,625	(31.0)	5,621	(37.1)	4	0.1
		計	7,326	(40.4)	6,857	(45.3)	469	6.8
	合計	官公庁	11,814	(65.1)	8,630	(57.0)	3,184	36.9
		民間	6,339	(34.9)	6,516	(43.0)	△177	△2.7
		計	18,153	(100.0)	15,146	(100.0)	3,007	19.9
	合計		18,153	(100.0)	15,146	(100.0)	3,007	19.9

(注) ( )内のパーセント表示は、構成比率であります。

##### (2) 受注予想

	受注高	
平成23年3月期予想	32,000 百万円	18.2%
平成22年3月期実績	27,066 百万円	△15.7%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率であります。